

Indonesia Weekly

2020年11月30日



(対象期間：2020/11/23～2020/11/27)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2020年11月27日)



【株式市場】

株式市場は、大手銀行株や通信大手株などを中心に海外投資家の資金流入が引き続きみられ、一部不動産株やセメント株に拡大する動きが見られました。中でも、大手格付け会社が見通しを上方修正した石炭株を中心に、鉱業セクターは週間で最も上昇しました。首都ジャカルタの行動制限は12月6日まで延長されましたが、市場への影響は限定的でした。新たな新型コロナウイルスのワクチンの試験結果を受けて今週も続伸し、8週連続の上昇となりました。

2020/11/20	2020/11/27	変化率
5,571.66	5,783.34	+3.80%

【債券市場】 インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2020年11月27日)



【債券市場】

23日は翌日のイスラム国債の入札を前に様子見となり、インドネシアの10年国債利回りは上昇（価格は低下）しました。イスラム国債の入札は長期債を中心に堅調な需要が見られました。25日以降は、外国人投資家からの資金流入を背景に、利回りは低下しました。26日は株式市場や通貨などの上昇に伴い、債券市場も堅調となりました。27日は利益確定売りも見られましたが、外国人投資家からの持続的な資金流入を背景に利回りは低下し、週間でも低下しました。

2020/11/20	2020/11/27	変化幅
6.217	6.191	-0.026

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2020年11月27日)



【為替市場】

ワクチン開発の進展を背景とした投資家センチメントの回復により、債券、株式市場への堅調な資金流入が見られたことから、ルピアは対円、対米ドルともに堅調に推移しました。

2020/11/20	2020/11/27	変化率
0.7309	0.7374	+0.89%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。